

小学生向け情報モラル啓発教室の 開発・普及

2016年度より、京都府警察本部サイバー犯罪対策課とともに、
情報モラル普及の冊子づくりに取り組んできました。

2017年度は、普及のために、
冊子の内容を指導できるプログラムづくりを進めました。



ネット利用が急速に進む中、 小学生に合った情報モラルを

2016年の内閣府の調査では、小学校高学年では、1日1時間以上インターネットを利用している児童が60%以上いることがわかっています。多くがゲームや動画をみることで使用し、SNSなどのコミュニ

ケーションの利用者も3割となっています。

そんな中、いじめや犯罪に巻き込まれることも多く、小学生の現状に合った情報モラルの普及が求められています。ベネッセこども基金でも何らかの活動をした

いと検討していたところ、京都府警察本部サイバー犯罪対策課から、お声をいただき、この取り組みがスタートしました。

冊子、安全教室のパッケージが完成し、今後はさらに普及に注力していきます。

“子どもが自らを守る力”と“地域の見守り力”を両輪で高めていく

スマートフォンなどは、子ども一人で使うことが多く、やりとりの様子が大人からは見えにくくなっています。トラブルに巻き込まれないためには、子ども自身がマナーや危険を知り、よりよく使

こなす力を身につける必要があります。また、情報モラルについては、イベント的なインプットではなく、常に安全意識を持ち続ける必要があり、身近な大人が定期的に確認できることが重要だと考え

ました。

そこで、子ども向けの冊子と、学校の先生や地域の大人が教えることができる安全教室のパッケージを、セットで開発しました。

初めてのスマホ安心ガイドブック

家庭でのルールを決められる書き込み式のルール表付き!

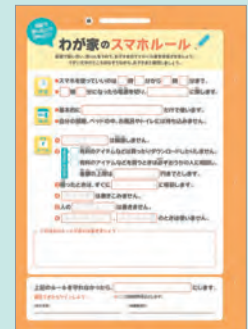
小学生と保護者のための情報モラル&マナーの冊子



スマートフォンやインターネットで特に起こりやすい12のトラブルを紹介

対象：小学校中学年以上
版型ページ数：B5 32ページ

子どもが親しみやすいビジュアル
+
考えながら学べるクイズ形式



スマートフォン・インターネット安全教室パッケージ

シナリオでは、「ポイント」「指導・声かけ例」を提示!

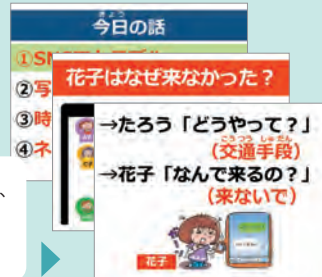
小学生に情報モラルを伝える、45分の安全教室が実施できる講師向けパッケージ



最も重要視している4つのトラブルの回避の仕方、子どもが考えながら学ぶ展開

対象：安全教室を実施する主催者や講師の方
時間：45分

投影用資料を使い、シナリオに沿って実施できる!



企画協力：京都府警察本部サイバー犯罪対策課 監修：兵庫県立大学 竹内和雄/京都府警察ネット安心アドバイザー

INTERVIEW



京都府警察
ネット安心アドバイザーリーダー
石川 千明さん

安全教室で親子一緒に学び、家庭でのルールづくりにつなげてほしい!

このプロジェクトでは、第1弾として「初めてのスマホ安心ガイドブック」、第2弾として学校や地域で誰でも使える投影用教材を作りました。冊子は子どもたちに多いトラブル、気をつけてほしいことを、学校だけでなく家庭に持ち帰り親子で楽しみながら学べる構成に、投影用の教材は子どもたちがしっかり考え、友だち同士で相談し、みんなで助け

合える関係を築けるように制作しました。インターネットは子どもたちだけで使っている場合が多く、自分自身で善悪の判断をし、困ったときは保護者に相談できなければ失敗する可能性が高いです。子どもが失敗しないためには、ルールづくりがその第1歩になります。ご家族でご覧いただき、家庭でのルールづくりに役立つ冊子になればと思っています。

冊子はすでに、全国で4万3千部普及!

※2018年3月時点

活用者からの声

友だちと一緒になら、ネットで知り合った人と会ってもよいと思っていましたが、やめようと思いました。

(小学校6年生)

5、6年生のインターネットの単元の補助教材として使用しました。クイズ形式になっていて児童に分かりやすかったです。特に最後のページのわが家のスマホルールは、とてもよく、保護者にも紹介して話し合うよう伝えました。

(小学校教師)

最近スマホやネットの危険性についての講演会に参加する機会が増えましたが、それを子どもに伝えたくてもどこからどう話せばいいのか上手く説明できずにいたので、この本をいただけて助かっております。漫画も交え、マナーやトラブル防止、相談先まで分かりやすく記載されているので、子どもでも楽しく読めそうです。最後のスマホルールのページも、ルールが明確になってとても良いと思いました。

(小学校PTA担当者)

先生からの質問に
元気に答える
子どもたち



京都市では、公立小学校の4年生全員が活用

京都市教育委員会より、夏休みの前に、市内の小学校4年生全員に冊子を配布したいという声をいただき、各学校にお届けしました。

京都市立二条北小学校では、2017年7月11日の学年会で、冊子に沿って情報

モラルの学習をしました。クイズに答えたり友だちと話し合ったりしながら、スマートフォンやインターネットを使う時に、どういう心構えを持つべきかを学びました。

CLOSE UP

京都府警察より 感謝状を いただきました!



京都府警察本部
サイバー犯罪対策課
志賀 定紀課長

京都府警察本部サイバー犯罪対策課では、以前よりサイバー犯罪の検挙やサイバー犯罪被害防止活動に取り組んでいましたが、平成26年春から、青少年を取り巻くネット問題等に知見を有する学識者、IT企業社員等を「ネット安心アドバイザー」として登録し、警察とアドバイザーのそれぞれの知見を活かした活動をしてきました。講演資料を共同制作して、府内高等学校等において講演活動を行うなど、先進的で効果的な産学官連携によるサイバー犯罪被害防止対策を展開しています。そ



京都府警察からいただいた感謝状



ネット安心アドバイザーとの検討の様子

の活動の一環として、小学校に対する取り組みを模索していたところ、同じ問題意識を持ったベネッセこども基金様と出会い、小学生向け冊子「初めてのスマホ安心ガイドブック」や講演教材を協働して開発することができました。その感謝の意を込め、この度表彰状をお贈りしました。

ベネッセこども基金様と連携した青少年への情報モラル活動をさらに推進していきますので、これからもよろしく願いいたします。

冊子・安全教室パッケージのお申し込み方法

学校での安全教室など、非営利の活動でご活用いただける場合、「初めてのスマホ安心ガイドブック」「スマートフォン・インターネット安全教室」のパッケージはすべて無償でお届けしています。

※送料はご負担いただけます。

「公益財団法人ベネッセこども基金」
安心・安全窓口

電話：04-7137-2570

FAX：03-6368-9995

(祝日・年末年始を除く月～金 10:00～17:00)

子どもの安全
サポーターズひろば

FAXで送付できる申込書や詳細は、「子どもの安全サポーターズひろば」からご確認ください。活動事例もご紹介しています。

子どもの安全サポーターズ

検索

<https://benesse-kodomokikin.or.jp/activity/anzen/index.html>